



## 虫 垂 炎

### 盲腸(炎)? 虫垂炎?

「盲腸(炎)」と昔から呼ばれ続けている病気ですが正しくは「虫垂炎」です。盲腸は哺乳類すべてが持っている大腸の一部の名前です。「虫垂」はこの盲腸からぶら下がっている器官で、詳しい機能は判明していませんが炎症がおきると「虫垂炎」となります。先日、某国営放送の番組で放送されていましたが、一般的な病気であるにも関わらず“全く”と言っていいほど、日本での研究は進んでいないのです。

### 虫垂炎の原因は?

風邪や腸炎などに伴って起こることもありますが原因は解っていません。時々、異物(イカの骨・スイカの種・義歯・珍しい物の中で小さなボルトやクリップ等の報告例が海外ではあります)が、原因になることもあります。

### 虫垂炎の症状は?

症状は千差万別で同じではありません。これは炎症の程度と進行状況によって症状が変化するためです。最初の軽症の場合は「胃が気持ち悪い」「お腹がもやもやする」等と典型的な症状ではありません。炎症が徐々に悪化すると典型的なお馴染みの右下腹部痛の症状になります。思ったより進行して発見されることもしばしばあります。似た症状を呈する疾患は、憩室炎・感染性腸炎・腸間膜リンパ節炎・腸結核などがあります。

### 虫垂炎の診断は?

以前は外科医が診察(触診等で)して、手術を行っていました(正診率: 80%程度)。しかし、現在は症状に加えて CT 検査や超音波検査などの画像診断が発達したため正診率は上がっております(正診率: 98%以上)。炎症はカタル性(軽度)、蜂窩織炎性(中等度)、壊死性(重度)の3段階に分類されます。

### 虫垂炎の治療は?

軽度の炎症なら食事を中止して点滴で抗生剤を投与しますが再度炎症を起こすことがあります。中等度以

上では切除(手術)が適応となります。手術は大きく2種類あります。右下腹部に2~5cm程度切開する開腹手術の小開腹虫垂切除術(場合により傷の大きさは変わります)と、12mm程の小さな傷3~4個から腹腔鏡用の長い鉗子を挿入して虫垂を切除する腹腔鏡下虫垂切除術があります。術式やタイミングについては主に炎症の程度や全身状態で決めますが、一旦、抗生剤で炎症を鎮静化させて改めて切除する待機的手術も最近では検討される様になっています。

### おわりに

虫垂の特徴(東海大学八王子病院12年間における752症例)の検討では

- ① 手術で切除された虫垂の97.7%が虫垂炎でした。
- ② 小児と高齢者の虫垂炎は重症化(穿孔・壊死)して受診されることが多いので注意が必要です。
- ③ 60歳以上の切除虫垂から腫瘍(良性と悪性)が2.3%(17例)見つかりました。
- ③ 準(癌に成りかけ)と悪性腫瘍の確率は、17例中14例でした(良性腫瘍は3例)。これは約50年前の欧米の約3倍、日本でも増加傾向にあり、原因は高齢化社会や食の欧米化による可能性が考えられていますが、詳細は不明です。
- ④ 悪性腫瘍であった症例の14例中8例が術前に”虫垂炎”と診断されていました。これは虫垂炎や虫垂腫瘍の診断が非常に難しいためであります。最近ではPET検査でも偶然発見されている例もあります。

(東海大学医学部臨床研究審査委員会承認済 14R-001)

### 一筆者紹介一

たじま たかゆき  
田島 隆行

1970年生。石川県出身の大阪育ちです。  
1994年3月 藤田保健衛生大学医学部医学科卒業。  
東海大学医学部外科学系 准教授。  
所属学会・資格; 日本外科学会(指導医・専門医・認定医)、  
日本消化器外科学会(指導医・専門医)、  
日本消化器内視鏡学会(指導医・専門医)、  
日本気管食道科学会(専門医)、  
日本消化管学会(専門医・暫定指導医・代議員)、  
日本臨床外科学会(評議員)、がん治療認定医、など